

# 今こそ耐震補強を

昨年発表された静岡県第4次地震被害想定で市内の最大震度が6強とされ、自宅の耐震に不安を抱いた人は多いのではないのでしょうか。

今後、予想される東海地震から一人でも多くの生命を守るため、市は、県や国とともに住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKAI (東海・倒壊)-0」を進めています。

## 耐震診断・補強工事の補助

昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断を無料で行い、補強計画の作成と補強工事の費用を補助します。また、木造住宅以外の建築物の耐震診断などの費用も補助しますので、ご利用ください（予算額に到達次第終了）。

※なお、耐震診断や補助金制度は、事前に申し込みが必要です。

## 木造住宅の耐震補強までの流れ

**無料**  
 専門家の耐震診断

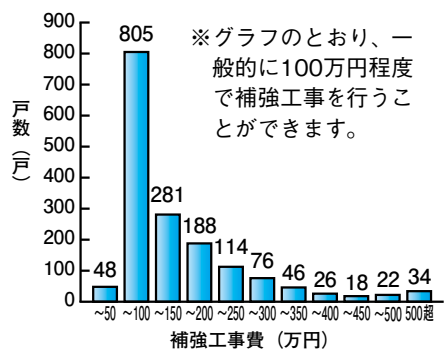
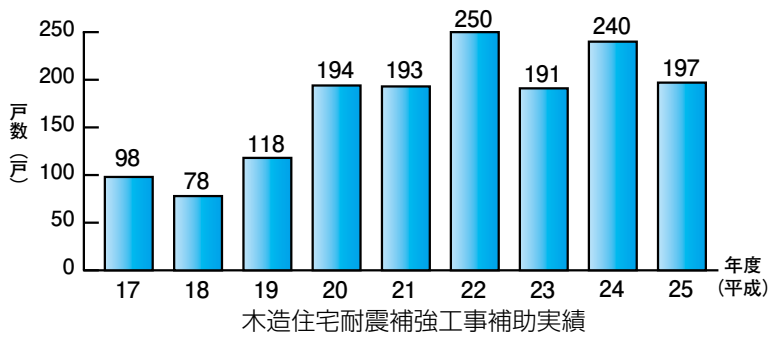
市が派遣する専門家（静岡県耐震診断補強相談士）による耐震診断  
 倒壊の可能性がある  
 と診断された場合

**補助金**  
 補強計画の作成

補強相談士による耐震補強計画の作成  
 補助金上限額／1棟9万6000円  
 ※65歳以上の人のみで構成される世帯は、1棟14万4000円。

**補助金**  
 耐震補強工事

補助金上限額／1棟50万円  
 ※65歳以上の人のみで構成される世帯などは1棟70万円。



## 危険なブロック塀を撤去しましょう

過去の震災では、倒壊したブロック塀が道路を塞ぎ、避難や救助・消火活動の妨げになる場合があります。危険と思われるブロック塀や石塀は全て撤去し、より安全な生け垣やネットフェンスにしましょう。

### 撤去費用を補助します

市は、道路に面するブロック塀や石塀を撤去あるいは安全な塀に改善する場合に費用の一部を助成しています。

安全な塀に改善する場合		撤去の場合	
補助額	対象区域	補助額	対象区域
額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1(最大25万円)	市内全域	工事費と塀の長さ1メートルにつき8900円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1(最大10万円)	市内全域
緊急輸送路、避難路または避難地に面するもの		工事費と、塀の長さ1メートルにつき3万8400円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1(最大25万円)	

※補助金の交付を受ける際は、撤去する前に市による現場確認が必要です。詳しくは、建築指導課へ。

